

～摂食嚥下障害～

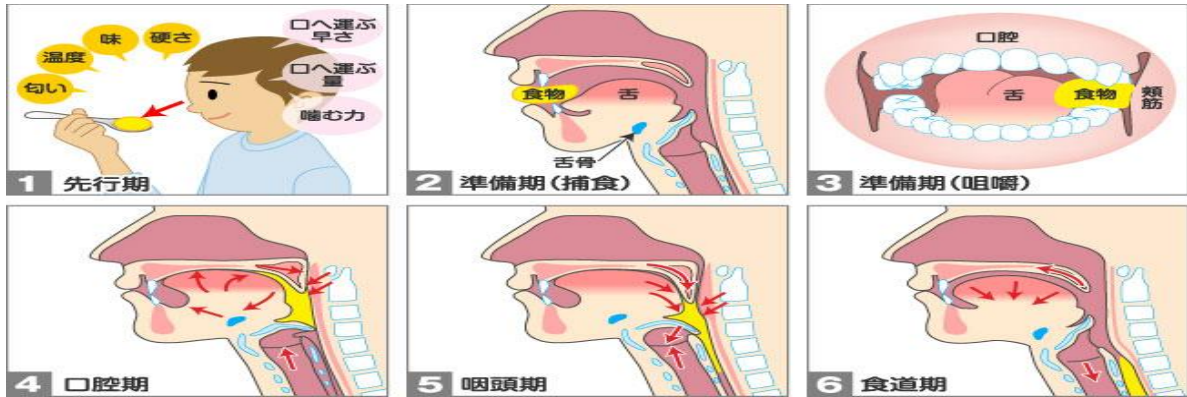


摂食・嚥下障害とは？

- 1、食べ物を目で見て、香りをかいで認識し口に取り込みます。
- 2、食べ物を良く噛み砕き、お口の中で飲み込みやすい形にします。
- 3、口から喉へ送ります。
- 4、喉から食道へおくります。
- 5、食道から胃へおくります。

この一連の流れを摂食・嚥下とといいます。

この流れのどこかがうまくいかずに、食べ物がスムーズに飲み込めない事を嚥下障害とといいます。



よく診られる症状

- ①よくむせる。とくに水やお味噌汁など、水分が多いもので。
- ②食事中以外でも唾液でむせる。
- ③食べ物を飲み込んだ後もまだお口の中に残ってる。
- ④麺類などのあまり噛まなくてもよい物を好むようになる。
- ⑤お食事のあと、声がガラガラする。
- ⑥お食事に時間がかかり疲れてしまい、全部食べれない。
- ⑦体重が減ってきた。
- ⑧発熱する事が多い。
- ⑨夜間、咳き込むことがある。

これらの症状が診られるときは摂食嚥下障害の可能性が考えられます。

心配なときは、歯科医師または耳鼻科の先生に相談しましょう。



検査方法

● 嚥下内視鏡検査(VE)

鼻から細いカメラを入れ、食べ物を飲み込む様子を喉の上から直接見る検査です。

● 嚥下造影検査(VF)

造影剤が入ってる食べ物を飲み込む様子をレントゲン映像として見る検査です。



飲み込んだ後
(ご飯が少し残っている)

